

科学技術と人間の関係を探るテーマとして、議論を展開。

## 人間くささ

応用科学学会では、「人間くささ」をテーマに、活発な意見交換を行っています。年に一度のシンポジウムでは、講演やパネルディスカッション、この「人間くささ」をテーマに、さまざまな専門分野の著名な先生方のご意見を伺い、参加者の方々とともに討論を展開しています。

### 科学技術と人間くささ

応用科学学会会長 藤井 敏生

二足歩行をし、顔り、トランペットを吹き鳴らす人型ロボット、愛くるしい動作をするロボット犬などを見ると、それが機械であるか知っていても、思わず見とれ、またホッとするのは何故だろうか。人は何故このようなロボットを作るのであろうか。物を選び移動するという機能だけに注目すると、二足歩行の人型ロボットは全く効率が悪い。

高度に発達した科学技術は、利便性に富み快適な社会を提供し、それを我々は享受している。しかし、高度な科学技術が作る社会は、人と人との接触の機会を奪い、豊かな人間性の醸成の妨げになりつつある。電子メールを通しての会話しか出来ない大人、電子ゲームに夢中になる子供達、いずれも対面相手は機械であり、そこに人の感情をぶつけても反応は冷たい。喜怒哀楽は人間の持つ人間らしさの現れであり、これを人間同士ぶつけ合い、人は成長する。無機質な機械から少しでも逃れ、より人間くさい機能を求めたとき、人型ロボットが登場したのではないだろうか。その不完全でどこか不機嫌な動作は、何ともユーモラスで、それでいて人間くささとあたたかさを感じる。

余裕、無駄、雑音等の本来の機能を徹底的に排除した場合、人は心地悪さを感じ、逆に、1/10のゆらぎや、ざわざわとした軽度の雑音の存在は、心地よさをもたらす。これは人間の持つ感性に訴えるものであり、科学技術の不得手とするところである。発展し続ける科学技術は、無駄を排除し高効率化を求めるあまり、ひとの人間くささを希薄にし、暖かみのない無機質な社会へと展開していくのではないかと危惧される。

このような効率一辺倒の科学技術に人はどう対峙すべきか等について、「科学技術と人間くささ」をテーマに自由闊達に意見交換をしていきたい。

### 2013 年度活動予定

2013 度は、以下の活動を予定しています。  
今年度は各専門委員会の研究活動の一環として、また、会員とのコミュニケーションを活発化する場として、公開技術講演会を計画しております。

※予定は変更する場合がございます。

#### 2013

- 5月 定期総会  
公開技術講演会(計測制御システム設計専門委員会主催)  
演算増幅器設計コンテスト 企業説明会
- 6月 公開技術講演会(未来センサ・通信応用専門委員会主催)
- 7月 演算増幅器設計コンテスト 作品受付期間(～9月)
- 9月 公開技術講演会(ヒューマンライティング専門委員会主催)
- 10月 演算増幅器設計コンテスト 審査会
- 11月 秋季シンポジウム  
研究報告会(秋季シンポジウム内)  
演算増幅器設計コンテスト 発表会・表彰式
- 12月 応用科学学会誌「秋季シンポジウム予稿集」発行

#### 2014

- 2月 公開技術講演会  
(計測制御システム設計/未来センサ・通信応用/  
ヒューマンライティング専門委員会共催)

- 電子回路応用専門委員会  
委員会4回 開催(内2回以上は公開委員会の予定)  
応用科学学会誌「電子回路研究特集」発行



#### 協賛企業

五十音順

- 株式会社エヌエフ回路設計ブロック
- 株式会社計測技術研究所
- 新日本無線株式会社
- 日本ナショナルインスツルメンツ株式会社
- 株式会社ホンダエレシス
- 株式会社本田技術研究所

#### 新規会員募集中!

お申し込みは、当学会Webサイトから。  
<http://www.ohyokagaku.org/>  
初年度年会費が半額割引となっています。  
(新入年会費 2,500円/年)

### 応用科学学会

〒223-0052 横浜市中区新港南町6-3-20 株式会社エヌエフ回路設計ブロック内  
TEL/FAX: 045-545-0133 E-mail: info@ohyokagaku.org <http://www.ohyokagaku.org/>

## 応用科学学会

The Japan Society of Applied Science

2013 年度版

